

2025 年 10 月 27 日
株式会社伊予鉄グループ

全国初「運転席無人」自動運転レベル4路線バスを本格運行

— 来年1月 松山環状線、2月 道後・松山城線 —

株式会社伊予鉄グループ（本社：松山市、代表取締役社長 清水一郎）は、新たに2路線で「自動運転レベル4」による路線バスの本格運行を開始いたします。当事業は、伊予鉄バスが愛媛県とコンソーシアムを形成し「自動運転社会実装推進事業」として国の採択を受け、実施するものです。

2026 年 1 月より松山環状線、2 月より道後・松山城線を開始する予定です。

路線バスとして全国で初めてとなる「運転席無人」での本格運行であり、さらに、路線上にある踏切を自動運転で通過するのは「世界初」の事例となります。使用する車両は EV バスで、現金収受のない完全キャッシュレス方式で運行いたします。

深刻化する運転士不足への対応に加え、カーボンニュートラルの推進や持続可能な都市交通の実現を目指し、本事業を「愛媛松山モデル」として推進してまいります。

1. 路線

①松山環状線

営業キロ：1 週 7.4 km

運行開始：2026 年 1 月予定

運行日：毎日

②道後・松山城線

営業キロ：片道 2.0km

運行開始：2026 年 2 月予定

運行日：毎日

2. 実施体制

運 行：伊予鉄バス

システム：BOLDLY(株)（ソフトバンク子会社）

3. 完全キャッシュレス運行

国土交通省「完全キャッシュレスバス実証運行」の選定路線

決済手段：ICOCA、Suica など全国交通系 IC カード（モバイル含む）、みきゃんアプリ

4. その他

松山市梅本において、来年1月より期間限定でレベル2の自動運転バスを実証運行する予定です。また、八幡浜市においても期間限定で、伊予鉄南予バスによるレベル2の自動運転バスの実証運行を同時期に開始予定です。

※松山観光港で運行しているレベル4の自動運転バスについては、上記二路線（松山環状線、道後・松山城線）のレベル4本格運行に注力するため、10月末をもって運行を休止し、通常車両で運行いたします。

■運行コース

①松山環狀線



②道後・松山城線



■導入車両



システム：BOLDLY(株)（ソフトバンク子会社）
車両サイズ：長さ 5,330mm × 幅 2,280mm × 高さ 2,770mm
座席数：11 席
最高速度：40km/h
航続距離：約 200 km
センサー：カメラ 13 個、LiDAR 5 個

■お問い合わせ：伊予鉄グループ広報室：TEL：089（948）3290